



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中津濱 健
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 堀畑 貴裕 (TEL) 03-3471-5521
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	82,935	△3.7	979	6.3	1,620	9.1	1,312	28.7
2020年3月期第1四半期	86,133	0.5	921	△16.3	1,485	△2.6	1,019	△3.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,757百万円(132.5%) 2020年3月期第1四半期 755百万円(△47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	134.56	—
2020年3月期第1四半期	104.71	98.43

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	135,199	52,943	39.2
2020年3月期	125,932	52,310	41.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 52,941百万円 2020年3月期 52,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	110.00	110.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	330,000	△6.1	2,600	△38.5	3,600	△37.9	2,800	60.6
								287.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,761,276株	2020年3月期	9,761,276株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	13,460株	2020年3月期	1,899株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	9,751,710株	2020年3月期1Q	9,739,611株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により近年では類を見ない急速な景気の悪化が見られ、極めて厳しく先行き不透明な状況となりました。

食品業界は、外出自粛等により外食需要が縮小する一方で内食需要が拡大し、前例のない程の消費者行動の急激な変化に対応を迫られる事業環境となりました。

食肉業界においても、各商品の調達環境、販売環境が激変するなど不確実性の高い事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは不確実性の高い事業環境に対応し、さらなる成長を遂げるための施策に取り組んでまいりました。当第1四半期累計期間の取り組みとして、当社を存続会社とした販売子会社2社の吸収合併を行いました。これにより販売部門の集約化と機能強化、意思決定の迅速化や業務のスリム化などが図られております。また、昨年度に着手した全社的業務プロセス改革プロジェクト(Zeusプロジェクト)も継続的に推進しております。加えて、新型コロナウイルス禍においても食品を安定的に供給する責務を果たすべく、衛生管理の徹底や柔軟な勤務体制等の対策を講じるとともに、人員配置の見直し等による業務負担の平準化を図りお客様のご要望にお応えする体制を整えてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は82,935百万円(前年同四半期比3.7%減)と減収となりました。一方利益面につきましては、営業利益は979百万円(前年同四半期比6.3%増)、経常利益は1,620百万円(前年同四半期比9.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,312百万円(前年同四半期比28.7%増)と増益となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりであります。

<食肉関連事業>

食肉関連事業の売上高は82,180百万円(前年同四半期比3.8%減)となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

(食肉)

国内事業は、家庭内消費需要の拡大に対応した結果、取扱量は外食需要の減少をカバーし前年同四半期を上回りました。売上高は、外食需要、インバウンド需要の減少に起因する国産牛肉の販売価格の低下などにより前年同四半期を下回りました。売上総利益は、外食需要中心の商品群で販売苦戦があったものの、国産牛肉の家庭内消費向け販売の強化や販売環境の一時的改善等により増益となりました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉において、取扱量は前年同四半期を上回りました。要因としては主に、家庭内消費の拡大から国産豚肉の取扱量が増加したことが挙げられます。売上高、売上総利益は国産牛肉の販売状況が大きく影響し、売上高は前年同四半期を下回り、売上総利益は増益となりました。

輸入食肉は、輸入牛肉と輸入豚肉は、家庭内消費向けの販売に注力した結果、取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を上回りました。一方で、外食需要中心の輸入鶏肉と輸入内臓肉は大きく販売量を落とし、取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を大きく下回りました。これらの結果、輸入食肉全体では取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を下回りました。

輸出事業は、各国の都市封鎖や外出禁止令等の影響で、欧米向けを中心に輸出重量、売上高ともに大きく落ち込みましたが、感染拡大封じ込めに成功している台湾を中心に取り組みを強化した結果、輸出全体の取扱量は前年同四半期比で若干の減少となりました。また、売上高は国産牛肉の輸出価格低下の影響から大きく減少いたしました。

これらの結果、食肉部門の売上高は65,880百万円(前年同四半期比3.9%減)となりました。一方、売上総利益は国産牛肉の国内販売の貢献等により、増益となりました。

(加工食品)

加工食品は、新型コロナウイルス禍により、外食向けハンバーグ等の販売で苦戦を強いられました。一方で内食需要の拡大に対応するため、小売業向けに家庭内調理ニーズに沿った商品の販売を強化し、特に豚肉を使用した半調理品の取扱いが順調に推移いたしました。以上の結果、内食需要の拡大に対応できたものの外食向けハンバーグ等の落ち込みをカバーしきれず、取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を下回り、売上高は13,124百万円(前年同四半期比0.5%減)となりました。

(ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージについても加工食品同様、外食向け業務用商品の販売で苦戦を強いられました。コンシューマ商品の販売は好調だったものの、業務用商品の落ち込みをカバーしきれず取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を下回り、売上高は2,694百万円(前年同四半期比15.4%減)となりました。

(その他)

その他の取扱品につきましては、売上高は480百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は754百万円(前年同四半期比11.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、8,553百万円増加し、88,785百万円となりました。これは、主として前渡金が減少したものの、現金及び預金や商品及び製品、受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、715百万円増加し、46,403百万円となりました。これは、主として投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、9,267百万円増加し、135,199百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、7,693百万円増加し、52,389百万円となりました。これは、主として短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、940百万円増加し、29,866百万円となりました。これは、主として長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、8,633百万円増加し、82,255百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、633百万円増加し、52,943百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月12日付け公表の「2020年3月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,232	15,070
受取手形及び売掛金	31,999	32,837
商品及び製品	26,841	30,559
仕掛品	423	422
原材料及び貯蔵品	2,474	2,628
前渡金	7,197	5,249
その他	2,073	2,026
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	80,232	88,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,078	12,006
土地	10,678	10,678
その他（純額）	6,156	6,372
有形固定資産合計	28,912	29,056
無形固定資産		
のれん	18	15
その他	828	863
無形固定資産合計	847	879
投資その他の資産		
投資有価証券	13,061	13,974
その他	2,866	2,493
投資その他の資産合計	15,927	16,467
固定資産合計	45,687	46,403
繰延資産	12	10
資産合計	125,932	135,199

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,245	15,278
短期借入金	8,208	15,442
1年内償還予定の社債	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	8,273	8,745
未払法人税等	1,219	349
賞与引当金	1,553	847
その他	9,195	10,725
流動負債合計	44,695	52,389
固定負債		
社債	2,100	2,100
長期借入金	22,023	23,360
退職給付に係る負債	2,010	2,023
債務保証損失引当金	—	29
その他	2,791	2,352
固定負債合計	28,926	29,866
負債合計	73,621	82,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,658	11,658
資本剰余金	12,513	12,513
利益剰余金	27,516	27,755
自己株式	△9	△59
株主資本合計	51,678	51,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	900	1,408
繰延ヘッジ損益	98	39
為替換算調整勘定	△245	△276
退職給付に係る調整累計額	△121	△96
その他の包括利益累計額合計	631	1,074
非支配株主持分	—	2
純資産合計	52,310	52,943
負債純資産合計	125,932	135,199

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	86,133	82,935
売上原価	78,461	75,097
売上総利益	7,671	7,838
販売費及び一般管理費	6,749	6,858
営業利益	921	979
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	59	64
不動産賃貸料	110	103
受取保険金及び配当金	214	187
持分法による投資利益	189	249
その他	134	207
営業外収益合計	710	814
営業外費用		
支払利息	75	74
不動産賃貸費用	42	32
その他	29	66
営業外費用合計	147	172
経常利益	1,485	1,620
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	1	1
減損損失	0	14
特別損失合計	1	16
税金等調整前四半期純利益	1,483	1,603
法人税、住民税及び事業税	690	401
法人税等調整額	△229	△112
法人税等合計	460	289
四半期純利益	1,022	1,314
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,019	1,312

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,022	1,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△232	500
繰延ヘッジ損益	△53	△60
為替換算調整勘定	△3	△23
退職給付に係る調整額	1	5
持分法適用会社に対する持分相当額	21	21
その他の包括利益合計	△267	443
四半期包括利益	755	1,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752	1,755
非支配株主に係る四半期包括利益	3	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りの仮定から重要な変更は行っておりません。